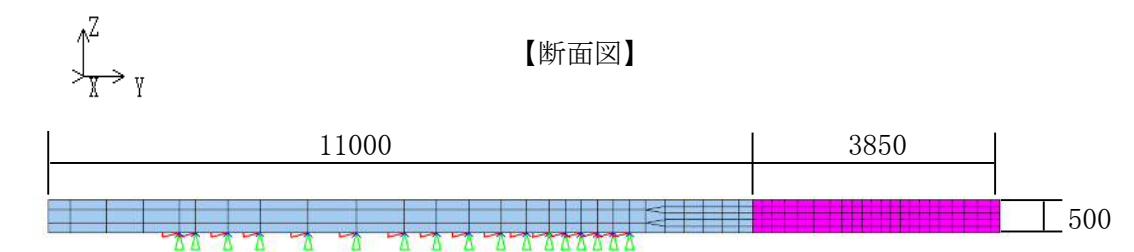
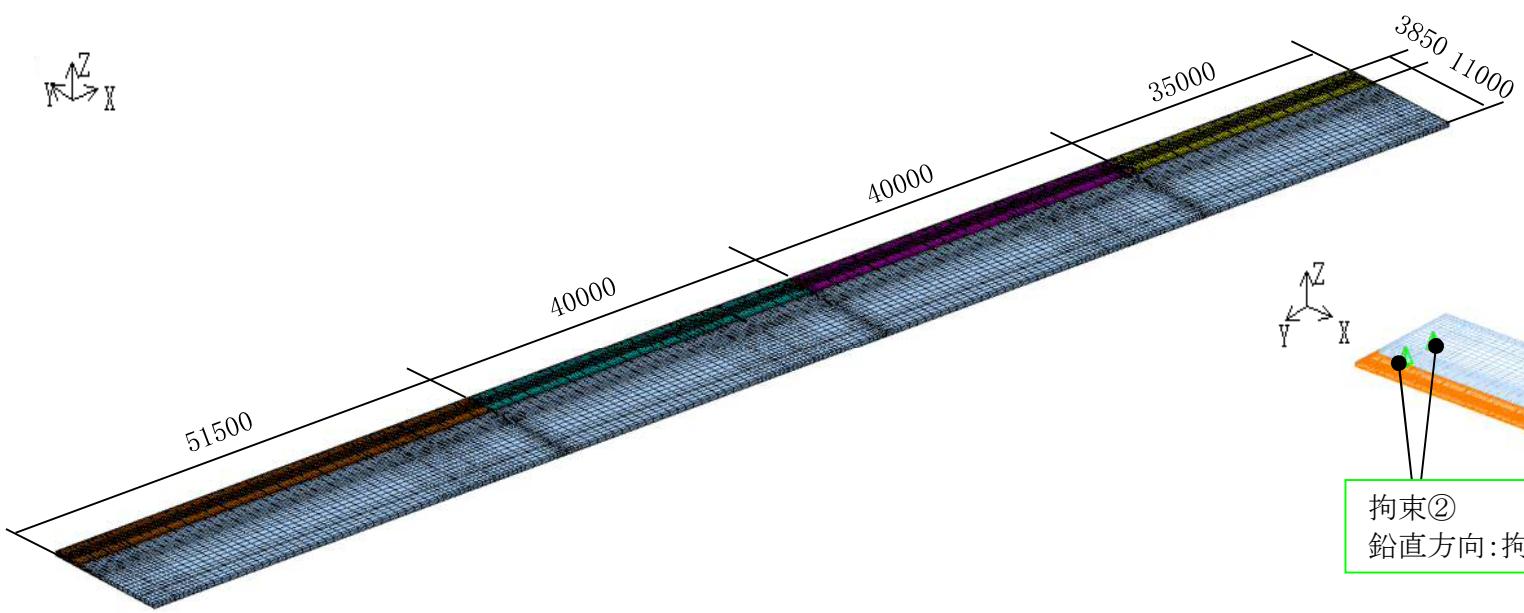
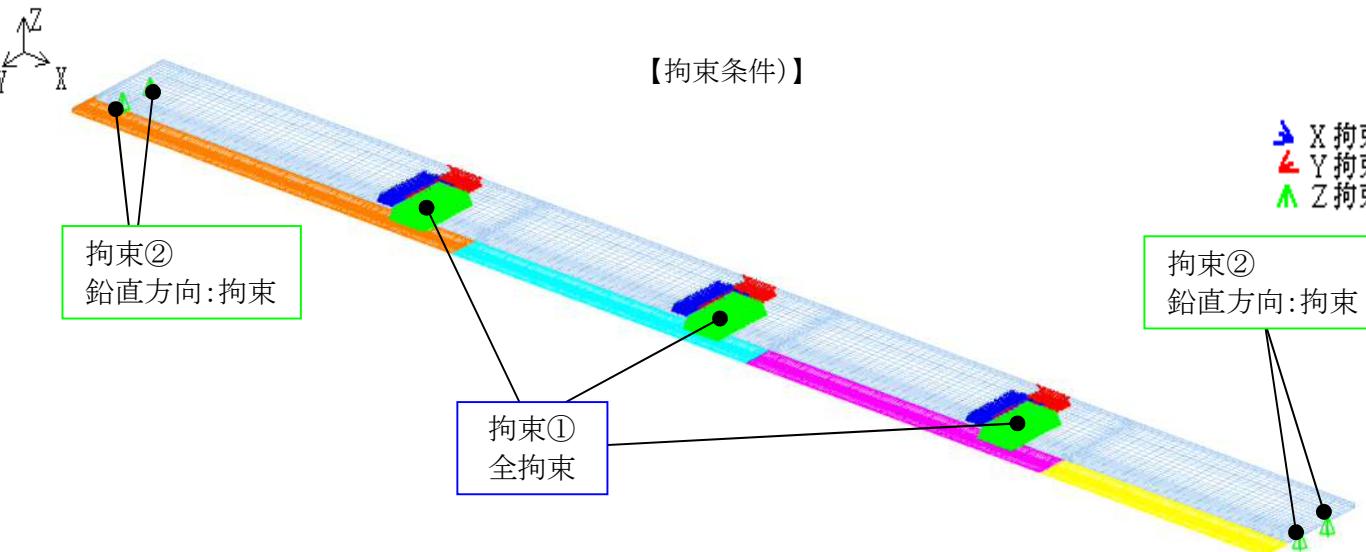


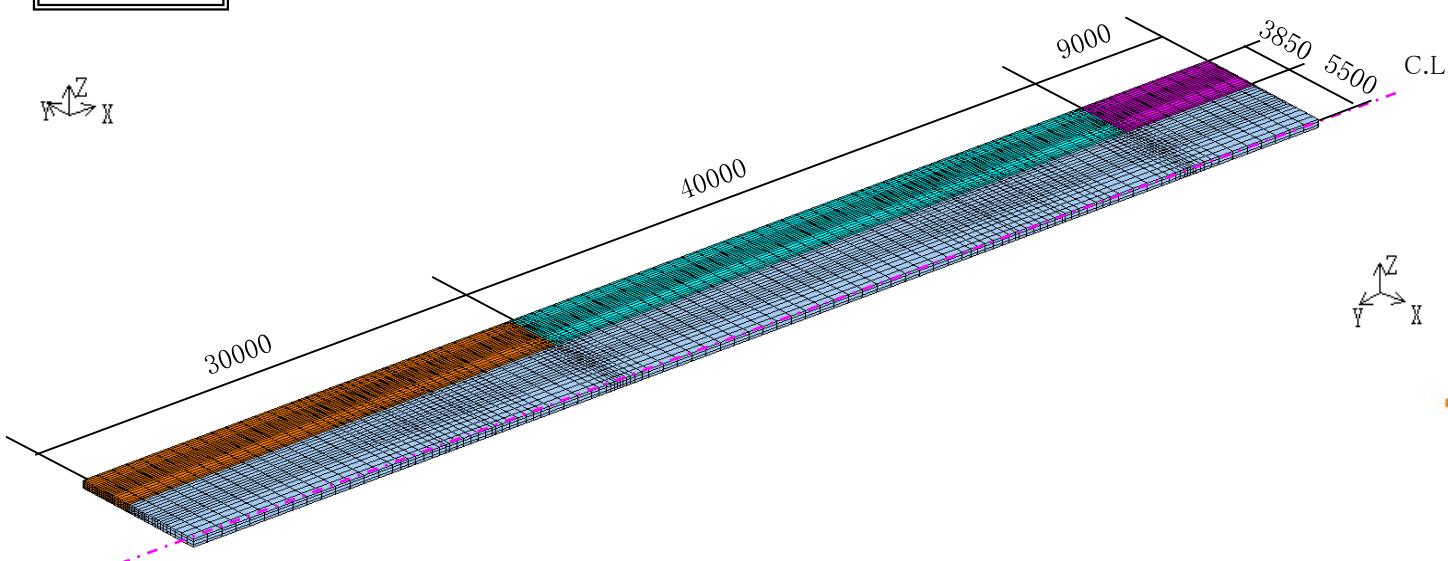
モデル①



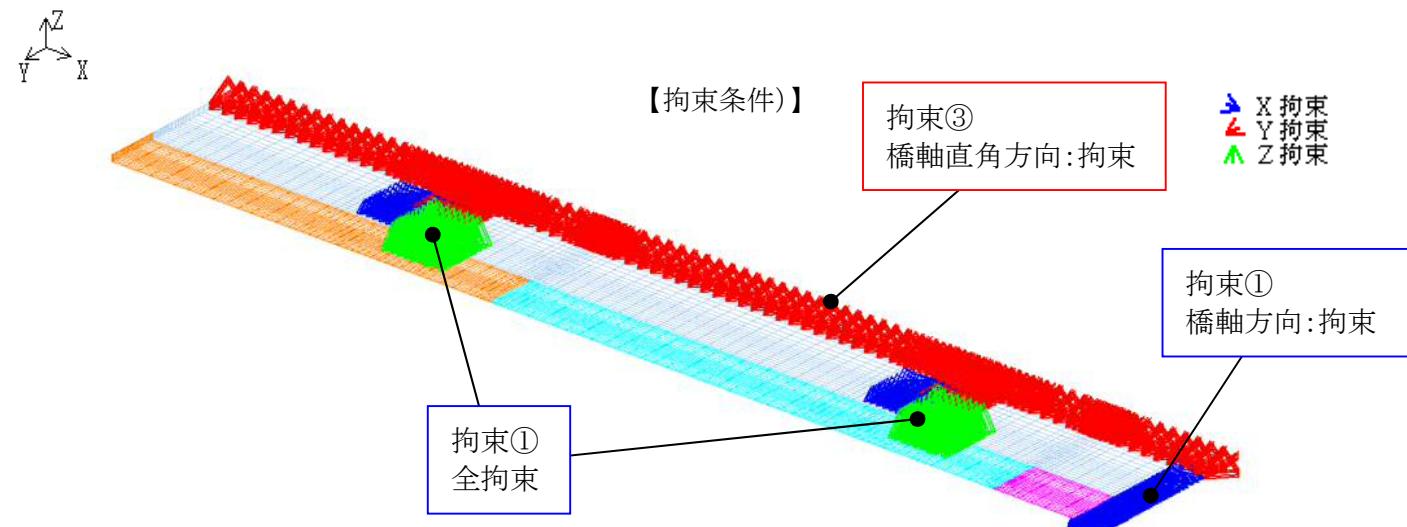
【拘束条件】 (Restraint Conditions)



モデル②

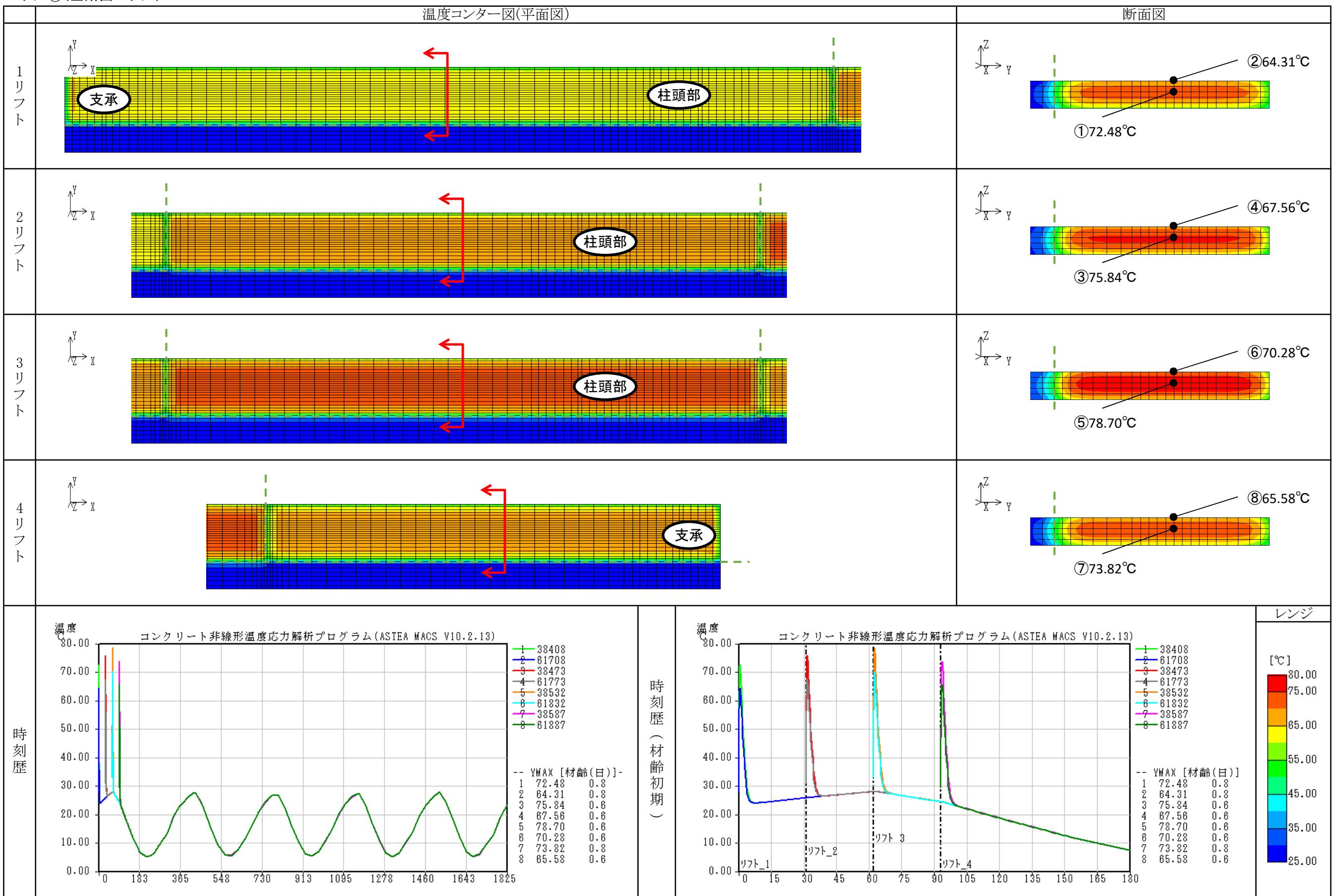


【拘束条件】 (Restraint Conditions)



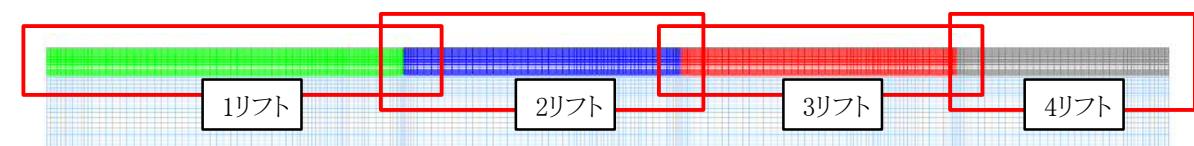
◆ 温度コンター

モデル①(全断面モデル)

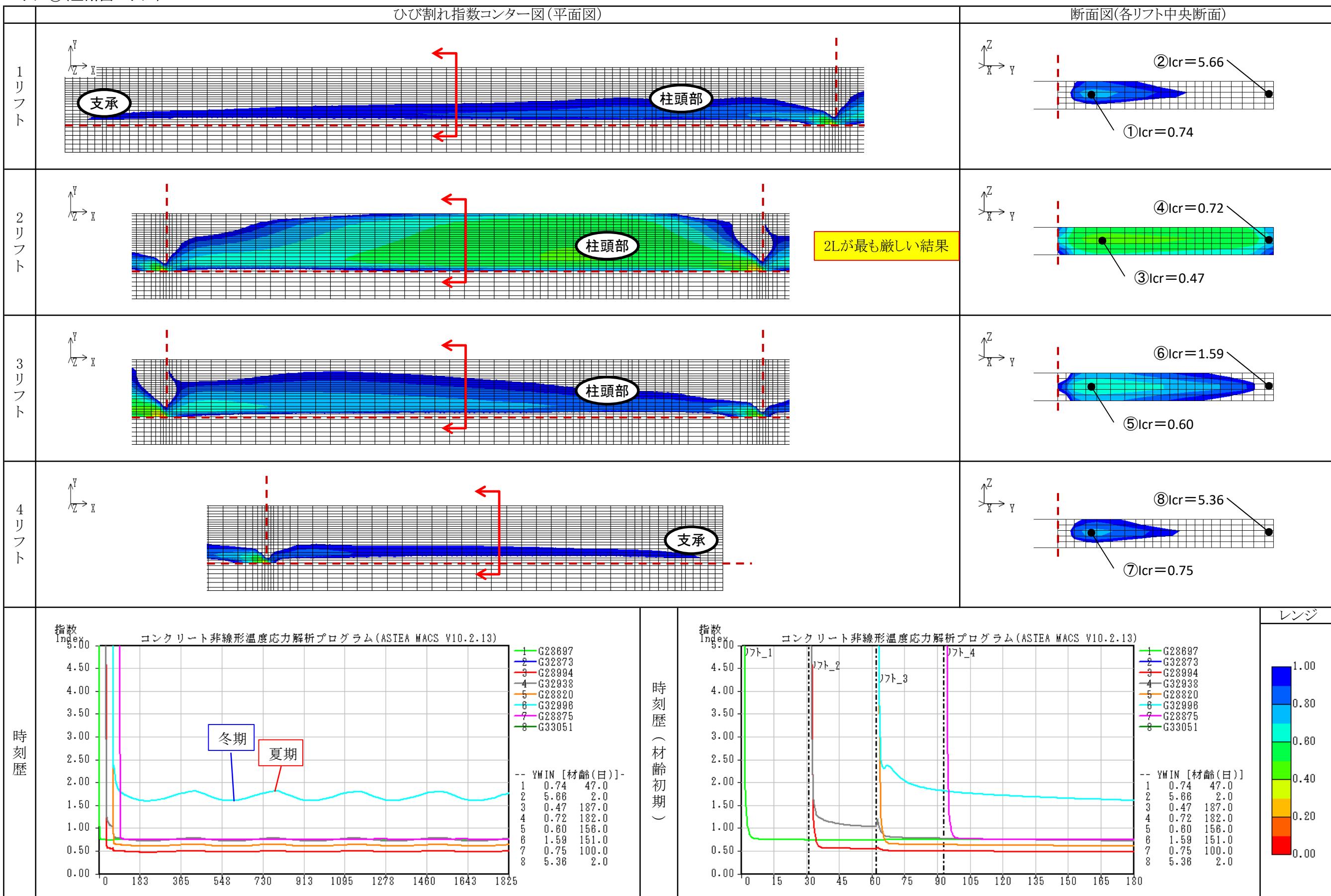


◆ ひび割れ指数センター

自己収縮・膨張材考慮、乾燥収縮なし



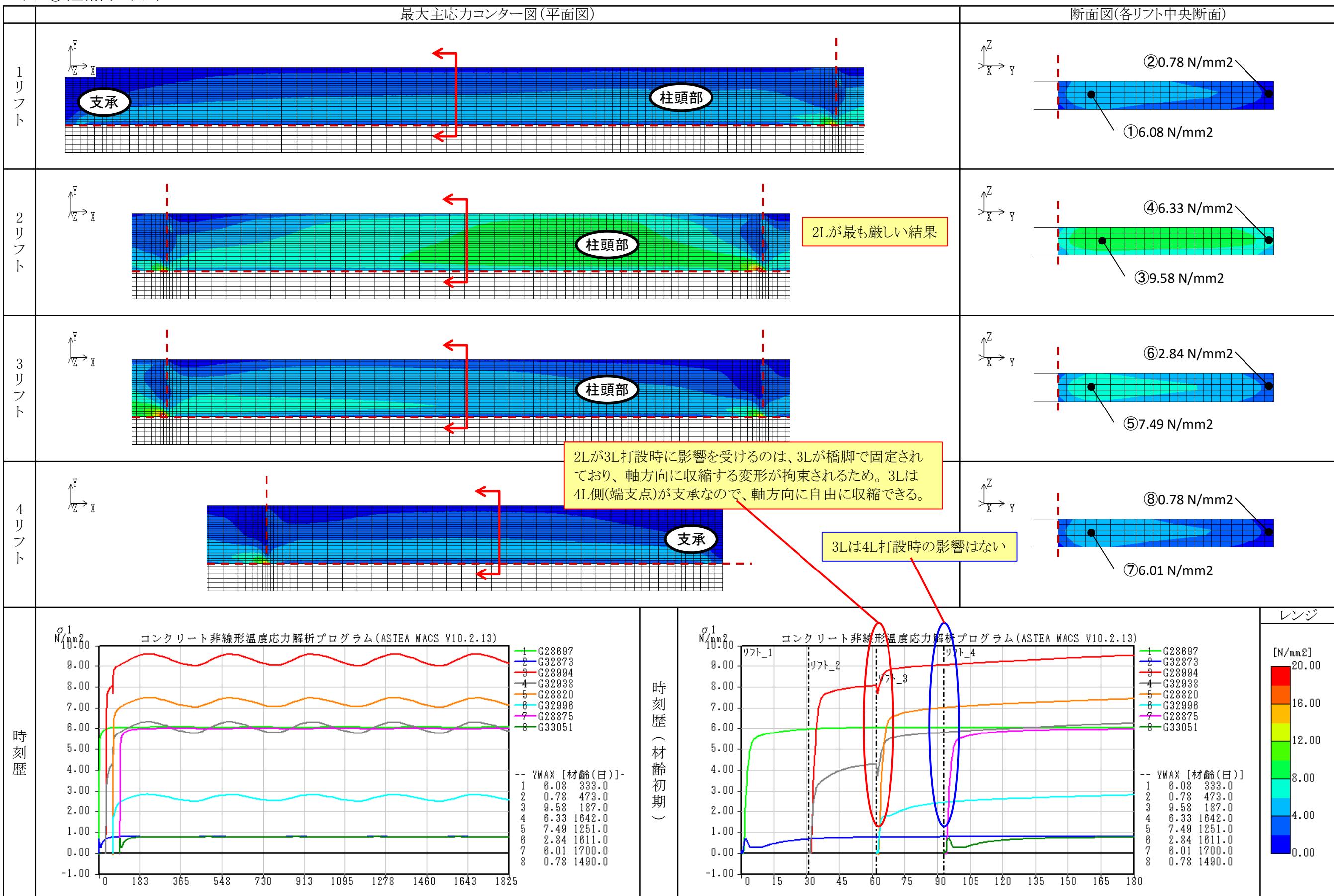
モデル①(全断面モデル)



◆ 応力コンタ

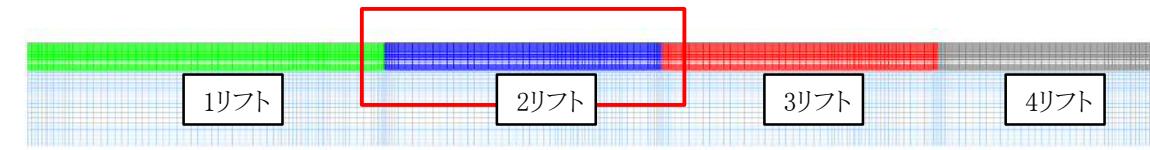
自己収縮・膨張材考慮、乾燥収縮なし

モデル①(全断面モデル)



◆ 各モデルの変形図比較

解析終了時の変形図



| 2L平面図センター | |
|--|--|
| <p>モデル①（全断面モデル）</p> <p>支承を鉛直拘束</p> | <p>前頁の2Lと3Lの結果の違いは端支点部の直角方向の拘束条件による。 3Lは端支点の直角方向をフリーにしていたため面外の変形がフリーで結果が良くなっている。</p> |
| <p>モデル②（半断面モデル）</p> <p>橋軸直角方向:拘束</p> <p>橋脚下端を全拘束</p> | <p>橋軸直角方向:拘束</p> <p>橋軸方向:拘束</p> <p>半断面モデルだと面外の変形が拘束されるた</p> |

